



広報便り

ホースバック取扱訓練及び消防署連携訓練

第 20-006

発行元：金沢消防団広報

発行日：2020年9月25日



ホースバックにホースを収める団員

ホースバック取扱訓練を実施

金沢消防団は、9月13日（日）、釜利谷ひろば公園（金沢区能見台）においてホースバック取扱訓練及び消防署連携訓練を行なった。ホースバックは昨年消防団に新たに装備された資機材で、団員からの「使い方を詳しく知りたい」という要望に署が応えるかたちで訓練が実現した。

当日は、団員約20名が参加し、ホースバックに精通した東富岡消防出張所の消防隊員が指導に当たった。隊員は、取り扱いについて、いねいに説明するとともに、実演を行なった。

指導を受けた団員は、まず2本の65ミリホースを折りたたんで結合し、バックに収めた。

そして、約18キロになったバックを肩に担ぎ、消防車の放水口にホースの端を結合。

火点方向へ前進すると、バックからホースが引き出されて伸びていき、約40メートル



指導を受ける団員（上）（左下）



バックにホースを収める団員（下）

動作を確認する団員（上）



ホースを伸ばす団員

トル先までホースを延長した。

訓練に参加したベテラン団員は「2重巻きホースを一気に転がして延長する方法に馴れているが、階段や曲がりくねった路地では、

ホースバックを使用しての延長方法が活用できる」と話していた。

消防団と署は、「今後も、連携して各種訓練を実施し、災害現場に備えていきたい」としている。